



今月のテーマ 皆さまの「デモ機ご試用アンケート」のご紹介

テクノスジャパンのデモ機貸出サービスは多くの病院様、施設様でご利用いただいておりますが、デモ機をご試用いただく前とご試用中の効果などをアンケートでお答えいただいております。今号では皆様のアンケートの中から、同じ種類デモ機でも成功した例、うまく使えなかった例をご紹介します。

超音波・赤外線コールの場合




設置例


○成功例

利用者	特養 H 様
製品	超音波・赤外線コール
現在の取り組み	離床センサー・その他（移乗バー）
現在の課題	本人が踏むセンサーマットを避ける
期待する効果	対象者の行動把握
【ご使用後の感想】	
踏むタイプのセンサーは対象者に避けられるので、今回赤外線タイプのセンサーのデモ使用を希望しました。 超音波・赤外線 の方向を調整したところ、スムーズに利用できるようになり、 危険をキャッチ できました。今回超音波・赤外線センサーを試して安全に配慮する環境を整備できてよかったと思います。	

×うまく使えなかった例



利用者	M 病院 様 急性期病棟
製品	超音波・赤外線コール
現在の取り組み	手作りセンサー・ラウンド
現在の課題	高齢患者への誘導・説明 スタッフの意識付け・安全風土の育成
期待する効果	患者の転倒防止
【ご使用後の感想】	
センサーの性能は素晴らしいと思いますが、頻繁に鳴って訪室が多くなった。特に、 スタッフの検知が多くあり 、使用し辛かった。	

ポイント



「動き」と「温度」を検知する「超音波・赤外線センサー」の例ですが、特養 H 様では、運用中にセンサーの照射距離や検知時間を調整され、安定してお使いいただけたようです。一方、M 病院様は、頻繁にコールが鳴ってしまったようです。「超音波・赤外線センサー」は、環境に応じた設定が必要ですが、特養 H のように少しの工夫で解消されます。また、M 病院様は、ベッドサイドで介助を行っていたスタッフに反応し頻りに報知をしてしまったようです。この場合は、「無線中継ボックス」に一時停止機能があり、センサーの作動を一時的に止めることで解決します！

コールマット・コードレスの場合





設置例


○成功例

利用者	I 病院 様
製品	コールマット・コードレス HC-R (MSN800R)
現在の取り組み	離床センサー
現在の課題	高齢患者への誘導・説明
期待する効果	患者の転倒防止
【ご使用後の感想】	
設置が簡易で、センサーの感度が良く、転倒リスクの軽減につなげることが出来ました。しかし、 オーバーテーブルに反応してしまうこともあるため 、 センサーのサイズをあらかじめ確認 するなど、 使用側の考慮が必要 と感じました。貸出ありがとうございました。	

×うまく使えなかった例

利用者	H 病院 様
製品	コールマット・コードレス HC-R (MSN1200R)
現在の取り組み	離床センサー、ラウンド、抑制帯、その他
現在の課題	センサーが足りない
期待する効果	患者の転倒防止
【ご使用後の感想】	
床マットが 大きい ので、スタッフも踏んでしまい、訪室の際は鳴りっぱなしになり訪室が増えました。	
 その後、小さいサイズのマットをお試しいただいたところ頻回報知も解消され、うまく運用できたとのことです！	

ポイント



テクノスジャパンの定番商品で人気がある「コールマット・コードレス」の例です。「コールマット・コードレス」は床敷きタイプのセンサーです。病室ではスペースが限られるため、マットサイズの確認が必要です。テクノスジャパンでは、4種類のサイズからお選びいただけます。サイズが大きいとナースコールの頻回報知につながるため、使用環境に合ったサイズを見つけてご利用ください！